

令和5年度（第5回）

“来て、見て、触って、町工場と繋がろう”

あやせ工場オープンファクトリー

報告書

あやせ工場オープンファクトリー実行委員会

目次

- I. 開催概要
- II. 開催方法
- III. 来場者属性
- IV. 来場者アンケート結果
- V. 参加企業アンケート結果
- VI. 次回開催方針

開催概要

はじめに

綾瀬市には、4つの工業団地と2つの工業会が所在し、中小製造企業が数多く集積する「ものづくりのまち」であり、工場には、大きな加工機械や産業用ロボットなどの設備、高い技術力を持つ技術者や仕事にプライドを持ち働く沢山人々がいる魅力的な場所です。

しかし、一般的に工業団地や工場は「立入禁止」「近づいてはいけない場所」といった印象があったため、工場が一般の方々との接点を持つことはなく、その魅力を伝えることができない状況でした。

そこで「立入禁止」という概念を断ち切るべく、一般の方を対象に工場見学・体験イベント事業を企画開催し、工場の日常を非日常として体験してもらうことで、ものづくりの魅力に触れつつ、人と人、人と企業、企業と企業の「繋がり」を創出してきました。

綾瀬工業団地協同組合の創設50周年を機に、令和元年度から同組合の事業としてスタートした「あやせ工業団地オープンファクトリー」は、コロナの影響を受けながらも「中止」することなく、バーチャル工場見学や自宅でものづくり体験ができるキットを配布するなど事業を継続してきました。

第3回目となる令和3年度には、完全予約制・徹底した感染対策を講じリアル開催とし、初めて同組合以外の市内企業のブース出展を企画しました。

第4回目となる昨年度は、更に進化し、これまでの綾瀬工業団地に「吉岡」「早川・さがみ野・小園」「上土棚・与蔵山下」の3つのエリアを加え、4日程での開催としたほか、新たに実行委員会を立ち上げ、事業名称も新たに「あやせ工場オープンファクトリー」としました。

今年度は、更に参加企業、来場者数も増え、参加企業の創意工夫により、見学・体験内容も充実しました。また、昨年度に引き続き、企業と来場者のものづくり交流イベントとして「あやせ工場ミニ四駆グランプリ」も同時開催しました。

オープンファクトリーを通じて、多くの笑顔を生み、多くの繋がりを創出することで、将来の担い手の育成やものづくりに対する興味・関心を高めていきたいと考えています。

そのためには、関係者各位のご理解とご協力は絶対不可欠ですので、引き続き、よろしくお願いいたします。

目的

『“繋がり”を生み、地域産業を活性化させる』

- | | |
|-----------|--------------------|
| ①理解促進 | 従業員の自社理解、地域住民との繋がり |
| ②地域ネットワーク | 市内企業、他社従業員との繋がり |
| ③ビジネス | 地域外の企業との繋がり |
| ④人材確保 | 将来の担い手との繋がり |

開催状況

	実施形式	来場者数	企業数	備考
1回	リアル	のべ 1500 人	27	綾瀬工業団地 50 周年
2回	バーチャル+リアル	アクセス 26,000 100 組	12	体験キット送付
3回	バーチャル+リアル (予約制)	のべ 450 人	22 (出張 8)	他エリア企業出張
4回	リアル (予約制)	のべ 1,720 人	41 (重複含)	市内 4 エリア 4 日程開催
5回	リアル (一部予約制)	のべ 2,100 人【目標】	55【目標】	規模拡大

第5回の概要

開催日・エリア	スケジュール	会場	アクセス	天候・入場料等
7/22(土) 吉岡	9:20 全体開会(式) 9:45 総合受付開始 10:00-15:00 工場開放 11:45-15:10 ミニ四駆 15:20 エリア閉会(式)	《メイン・イベント》 小田運輸	・総合駐車場 2 か所、一部工場駐車場 ・市シャトルバス・ワゴン(エリア内循環)	・真夏日 ・入場料: 大人(高校生以上)1,000 円 特典 綾瀬産野菜がもらえるスタンプラリー ・体験料: 一律無
7/29(土) 早川・さがみ野・小園(早さ小)	9:30 エリア開会(式) 9:45 総合受付開始 10:00-15:00 工場開放 11:45-15:25 ミニ四駆 15:40 エリア閉会(式)	《メイン・イベント》 ミズキ 《休憩所》 ローソン	・総合駐車場 1 か所、一部工場駐車場 ・市シャトルバス(エリア内循環)	・真夏日(熱中症警戒アラート) ・入場料: 大人 500 円(高校生以下無料) 特典 ローソンで使用できる 200 円引券 ・体験料: 各工場による ・アンケート回答でアイス
9/2(土) 上土棚・与蔵山下(上与)	9:30 エリア開会(式) ※総合受付無 10:00-15:00 工場開放 11:45-15:10 ミニ四駆 15:15 エリア閉会(式)	《イベント》 ノーブル電子工業 野口製作所	・総合駐車場 1 か所、ほぼ全ての工場駐車場 ・市シャトルバス・ワゴン(エリア内循環)	・真夏日 ・入場料: 無料 ・B-MAX オリジナル缶バッジがもらえるスタンプラリー ・体験料: 各工場による ・アンケート回答でアイス
9/9(土) 綾瀬工業団地(綾工)	※エリア開会式無 9:30 総合受付開始 10:00-15:00 工場開放 11:45-15:40 ミニ四駆 15:40-15:45 全体閉会式 15:45-15:50 集合写真準備・撮影	《メイン・イベント》 組合第 2 駐車場	・総合駐車場 2 か所のほか、駐輪場及び関係者駐車場 ・市シャトルバス(市役所駐車場～会場)	・AM降雨、前日台風接近 ・入場料: 無料 ・体験料: 各工場による ・アンケート回答でアイス

来場者数及び参加企業数

※「来場者数（延べ）」は、各工場等での受付人数の総和

開催日・エリア	来場者数（延べ）		参加企業数（延べ）		総合受付人数
	今回	R4	今回	R4	
7/22(土)吉岡	1,100人	450人	20社	13社	63組（入場料対象者）
7/29(土)早さ小	750人	350人	14社	10社	68組（入場料対象者）
9/2(土)上与	600人	300人	7社	6社	—（総合受付なし）
9/9(土)綾工	1,540人	620人	18社	12社	366人（全来場者）
合計	3,990人	1,720人	59社	41社	

2.3倍

1.4倍

ミニ四駆グランプリ

※第5回はスピード部門のみ開催（デコ部門は廃止）

開催日・エリア	参加チーム	
	今回	R4
7/22(土)吉岡	6（一般6） @小田運輸（メイン会場） 《代表》チームひでもも	6（一般3・企業3） @KYOEI
7/29(土)早さ小	5（一般5） @ミズキ（メイン会場） 《代表》チームREIJI	6（一般4・企業2） @川崎製作所
9/2(土)上与	6（一般6）@ノーブル電子工業 《代表》チームひな	10（一般6・企業4） @ノーブル電子工業
9/9(土)綾工	11（一般5・企業5・ミュージックミニ四駆部1） @綾工駐車場（メイン会場） 《代表》チームけいた	11（一般1・企業9・Youtuber1） @綾工駐車場（メイン会場）
合計	28 （一般22・企業5・ミュージックミニ四駆部1）	33 （一般14・企業18・Youtuber1）
総合優勝	《綾工エリア代表》 チームけいた ※R4 優勝者が2連覇。上与エリアで敗退→綾工で再挑戦して優勝。	

周知

- ・広報あやせ（7/1号特集記事。市内全戸配布）
- ・市プレスリリース、ネットニュース
- ・SNS（Facebook、Instagram、Twitter）
- ・ポスティング（綾工エリアを除く）
- ・Instagram 有料広告（綾工エリア）
- ・綾瀬小学校全児童への配布（綾工エリア）
- ・関係者案内（チラシ、ポスター掲示） など

メディア

【テレビ・ラジオ】

- ・7/6JCOM ライブニュース
- ・7/29JCOM WEEKLY トピックス
- ・8/5FM ヨコハマ かながわマフィン（あやせものづくり研究会とセット）
- ・8/6tvk かなフルTV（あやせものづくり研究会とセット）

【新聞】

- ・7/8、7/24 神奈川新聞
- ・7/26 産業新聞（吉岡エリア）
- ・7/28 タウンニュース
- ・7/27、8/15、9/8 日刊工業新聞
- ・8/2 公明新聞（吉岡エリア）

ホームページ

<https://www.ayase-kougyoudanchi.jp/open-factory/>

シャトルバス

開催日 ・エリア	マイク ワゴン	運行時間 (運休時間)	バス本数 所要時間	バス回数 乗客数	備考
7/22(土) 吉岡	○ △	8:55-15:30 頃 (12:00-13:00)	10 便 約 20 分	9 か所 108 名	臨時で 1 か所降車場所追加。ワゴン車運行の事前周知なし。デマンド運行。
7/29(土) 早さ小	○ —	9:50-15:50 頃 (12:00-12:50)	19 便 約 15 分	5 か所 132 名	総合受付混雑で始発便 5 分遅延。AM 最終の乗遅れが数名。PM 最終便乗車なし。
9/2(土) 上与	○ ○	9:40-15:40 頃 (11:15-12:00)	16 便/約 15 分 12 便/約 20 分	3 か所/34 名 5 か所/21 名	臨時で B-MAX 工場前に降車場所追加。
9/9(土) 綾工	○ —	9:25-16:30 頃 (11:15-12:00)	10 便 約 15 分	2 か所 50 名	

※運行時間：始発便発車時刻～最終便到着時刻

※マイクロバス…乗車定員 20 名、ワゴン…乗車定員 8 名（いずれも市職員で運行）

開催方法

実行委員会

OF を綾瀬工業団地、早川工業団地、さがみ野工業団地、吉岡工業会、綾南工業会の 5 団体から形成される 綾瀬工業団体連合会の事業 として位置づけ、開催ノウハウのある綾瀬工業団地のメンバーを中心にあやせ工場オープンファクトリー実行委員会を組織。

主催

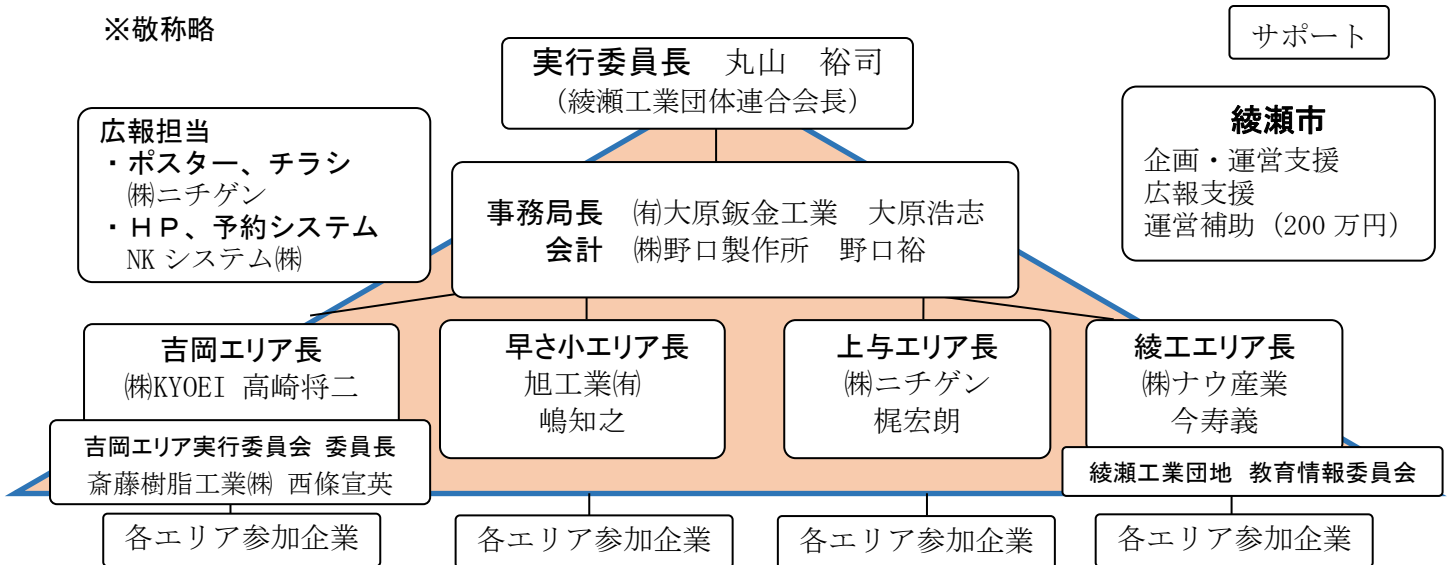
あやせ工場オープンファクトリー実行委員会（綾瀬工業団体連合会）

後援

綾瀬市・綾瀬市商工会

組織図

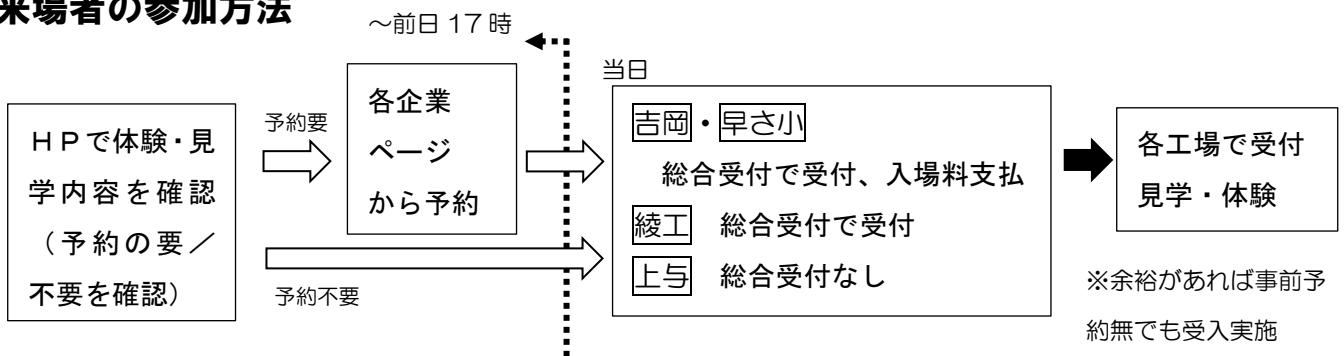
※敬称略



企業の参加要件

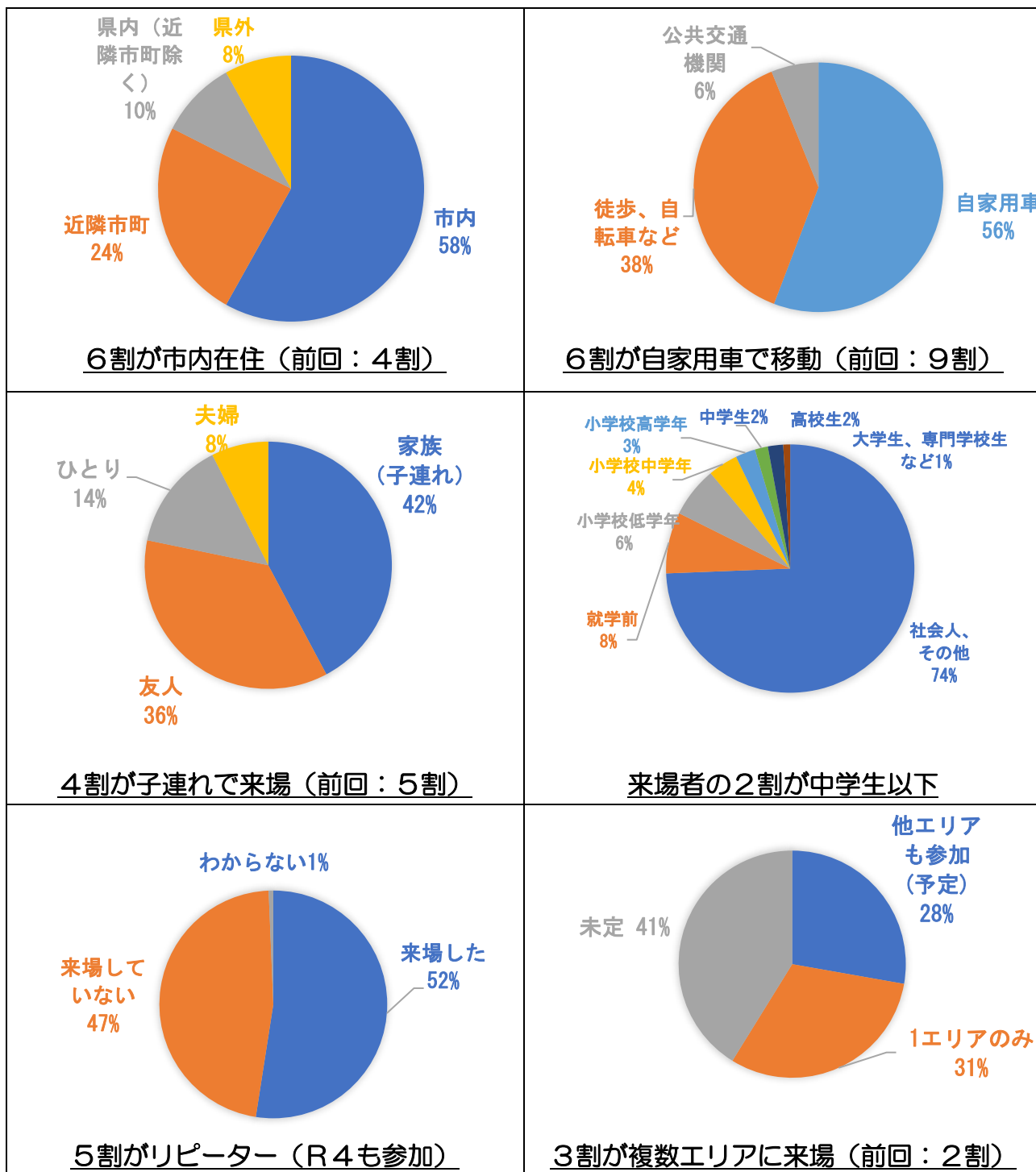
- ・市内に事業所（工場等）を有すること
- ・エリアごとの開催日に工場見学又はものづくり体験（出張含む）が可能なこと
- ・参加費（50,000円/1社）の支払いが可能なこと
- ・本イベントの趣旨、目的に賛同いただけること

来場者の参加方法



来場者属性

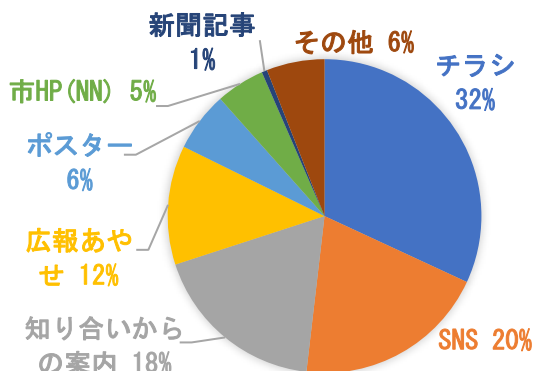
※来場者向けアンケート結果より（回答者数：308）



来場者アンケート結果

※来場者向けアンケート結果より（回答者数：308）

①どこでイベントを知りましたか？（複数回答可）



チラシが3割、SNSが2割

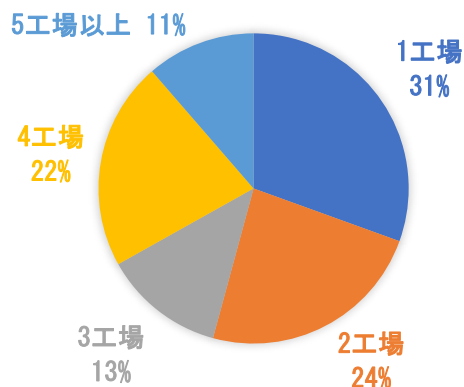
（前回：SNS・知り合いからの案内がともに3割）

※チラシ(ポスティング)8名3% (綾工以外のうち)

※チラシ(学校配布)3名4% (綾工のうち)

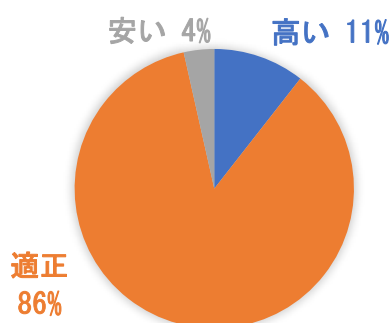
※【綾工】Instagram 6名8% (綾工のうち)

②訪問した工場数は？



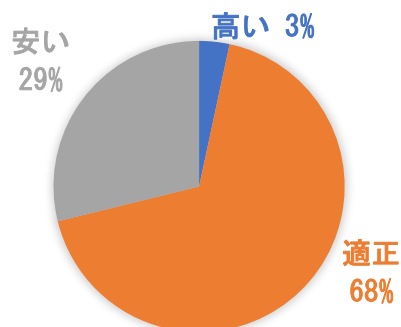
3工場以上訪問は5割（前回：4割）

③入場料は？【吉岡・早さ小】



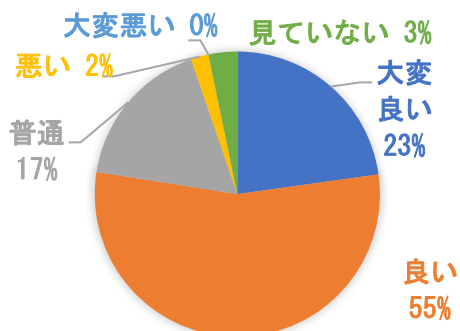
概ね適正と捉えているが、1割は不満あり
（吉岡は8%、早さ小は17%が「高い」と回答）

④体験費用は？【吉岡以外】



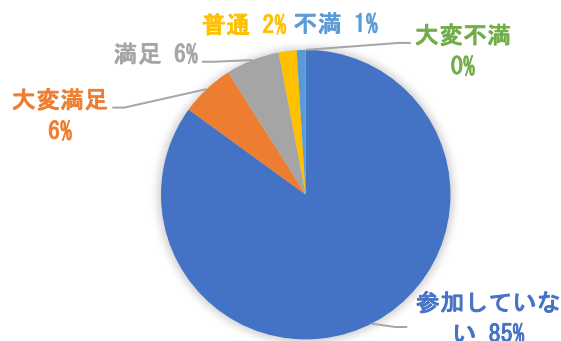
97%が適正又は安いと感じている

⑤公式HPの見やすさは？



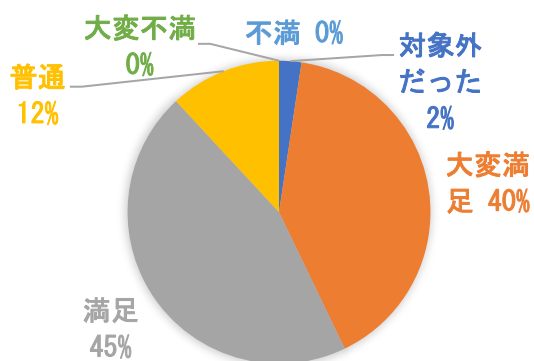
8割が好評価

⑥【吉岡】スタンプラリーの満足度は？



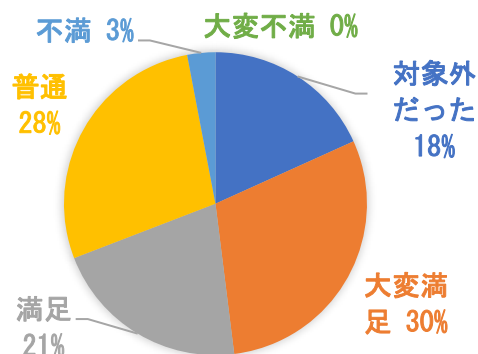
対象者の満足度は高いが、参加者はかなり限定的だった

⑦【早さ小】ローソンコラボの満足度は？



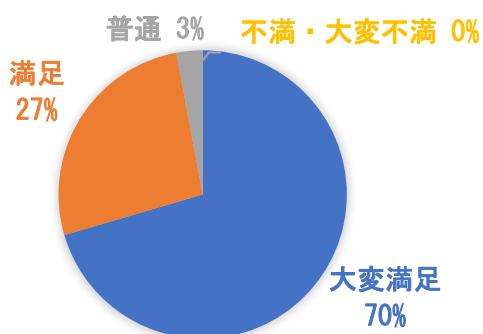
9割が満足している

⑧【上与】スタンプラリーの満足度は？



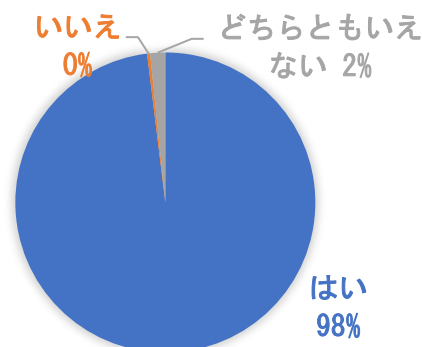
不満は少ないが満足度は5割となっている

⑨今回の満足度は？



97%が満足している（前回：93%）

⑩また来場したい？



98%がまた来場したいと回答
（前回：97%）

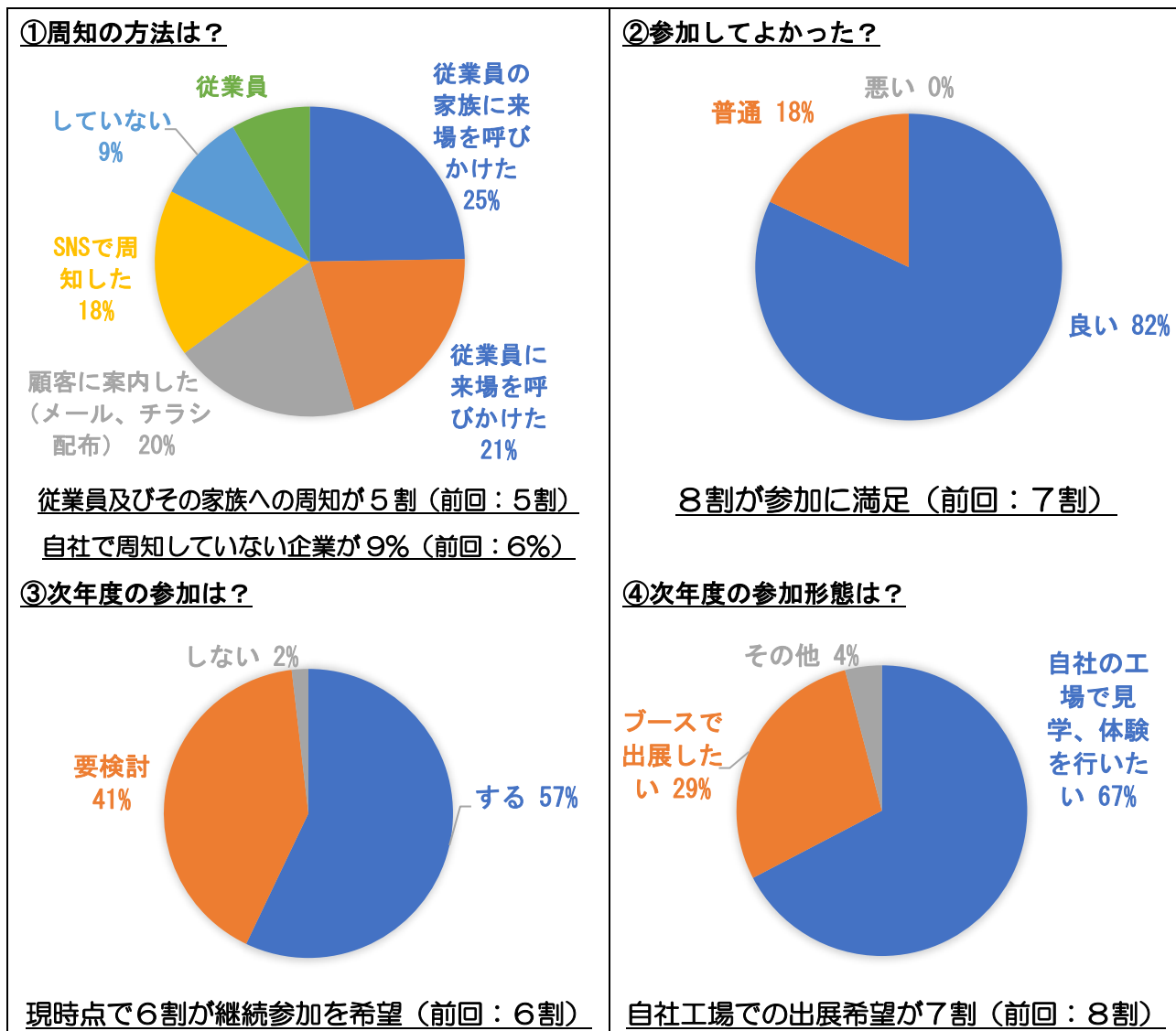
来場目的は？（アンケート抜粋）

- 子どもに色々なことを経験させたい。子どもの教育。夏休みの自由研究。
- 子どもが工場見学に興味を持っていた。
- 様々な仕事を知りたい。働く人の声を聞きたい、姿を見たい。
- 物作りの現場を直接見てみたかった。工場の仕事に興味があった。
- 普段見られないところを見られるイベント。
- 住んでいる地域の特色を見たかった。
- ものづくりのまちあやせを見にきた。
- 地元の企業が何を作っているのか知りたい
- 身近な部品のことをもっと知りたい
- 家族（夫・息子）が働いている会社を見にきた。
- 他の企業の取り組みを見るため。情報収集。
- チラシを見て楽しそうだと感じた

イベント全体の改善点は？（アンケート抜粋）

- 暑さ対策をしてほしい。真夏は避けてほしい（多数）
- 暑すぎたため早めに帰った。熱中症になるのではと危惧しながら見学した
- もう少し涼しい時期の開催だと子連れはありがたい。
- 今年は特に暑く、もう少し涼めるところがあればよいと感じた。
- 道に迷う人が多かった。地図やパンフレットの表示を工夫してほしい（多数）
- 工場内に見学者が入りやすい工夫をしてほしい。受付・入口の場所が分かりにくい。
- 各会場等の住所をマップに入れてほしい。
- バス停から工場までのルートをわかりやすく目印（案内板など）があると良かった。
- 工場のイベントをまとめて数か所で開催してほしい。移動が大変。
- 駐車場の砂埃がひどかった。
- 駅からのアクセスが分かりにくい。
- 総合駐車場だけでなく各所に駐車場があるとよい。
- 各工場の駐車スペースが少し分かりにくかった。具体的に停車位置を指定してほしい。
- シャトルバスの運行と体験スケジュールの時間を合わせてほしい。
- シャトルバスの出発・到着場所を駅近にしてほしい
- バス停に時刻表を載せてほしい。
- 予約の意味が曖昧だった。当日参加可能か分からず、予約した工場以外に行けなかった。
- 当日まで予約できるようにしてほしい
- 予約なしでもみれるところが増えると嬉しい
- 予約状況を一目で分かるようにしてほしい。
- 具体的な業務内容の例を教えてほしかった
- 工場ごとのイベント内容を紹介した印刷物があると嬉しい
- 景品の野菜が持って帰るのが大変だった。特に公共交通機関だと。（吉岡）
- スタンプラリー（吉岡）のルールが分かりにくかった。
- 移動時間を考慮したコマ割りにしてほしい。行程を組み立てにくい。
- 集合時間や開会式など、当日のスケジュール・流れが分かりにくい。
- 総合受付が必須なのか分からなかった。
- 16時までオープンしてほしい
- 1回では回り切れないので、数年かけて全体を回ってみたい。スタンプラリーを工夫してもらえると嬉しい。

参加企業 アンケート結果



※①の「自由記述」の主な回答

- グループ会社や近隣へのポスター掲示依頼、チラシ配布
- かながわ経済新聞への折り込みチラシ 500 部
- 商工会青年部への呼びかけ

出展してよかったことは？（抜粋）

- 皆さんに楽しんでもらえた。子供たちの笑顔を見ることができた。（多数）
- 昨年より来場者が増えた。リピーターもいた。
- 想像以上に来場者が多かった
- 近隣の企業や地域の方、異業種の企業の方と交流できた。
- 新しい工場体験の作品が生まれた。
- 自社の工程を子ども向けに分かりやすく説明し、製品を間近で見ってもらうことで、ものづくりへに関心を持ってもらえた。
- 従業員が積極的に参加してくれた。年ごとに従業員の姿勢が前向きになってきている。
- 自分たちでは当たり前前の作業だが、来場者に凄いと褒められて仕事に自信が持てた。担当した従業員の意識が少し上向きになった。モチベーションが上がった。
- 従業員の息抜きになった。
- お客さん向けの体験案の改善と、従業員全員で協力できる体勢になってきた。
- 普段はお見せできない分、従業員が人から見られるという意識を持てた。
- 従業員が他の参加企業の工場見学ができて勉強になった。
- 工場内が綺麗になった。
- 自社は全ての仕事が工業向けだったが、一般の方にも喜んでもらえることを知ることができた。
- 従業員が楽しそうに自分の仕事の話をしていた。
- 来場者に説明することで、改めて自社を見つめなおすことができた。
- 会社の中でもちょっとしたお祭りのような雰囲気になるので楽しかった。
- 社内でプロジェクトを組み一丸となって協力できた。従業員の団結力を再認識した。
- パートさんも協力やアイデアを出してもらえた。
- 従業員の仕事以外の一面を見ることができた。
- 臨機応変に対応してくれる従業員が増え、昨年よりもスムーズに準備できた。
- 休業日のため見学のみ実施したが、少人数のスタッフで対応できた。
- 体験の待ち時間を少なくするよう事前に社内で打合せ、システム化することができた。
- 地域での自社の知名度が上がった。自社のPRをすることができた
- 多くの人に自社の製品や技術について理解してもらえた。
- 工程作業の重要性や変形の説明など、製造現場について知ってもらえてよかった。
- 家族を招待して、実際に職場を見て理解してもらえた。
- 外見から何の会社か分かりにくい自社を、近隣の方に知ってもらえた。

出展して後悔したところは？（抜粋）

- 夏休みの狙いは分かるが暑さが厳し過ぎた。来場者数が伸び悩んだように感じる（多数）
- 想像していたよりも子供の人数が少なかった。子どもを呼べる体験内容を考える。
- 予想より大人の方が多かったため、子どもだけでなく大人も楽しめるような企画を考える。
- 昨年との大きな違いが無く、もう少し面白いことも出来たのではないかと反省。
- 自社の設備で紹介できなかった。特別な企画は極力せずに、体験内容を事業内容により近いものにし、普段通りに生産する工場を見てもらうことも必要と感じた。
- 体験の内容に集中しすぎため、会社の名前や商品を知ってもらう工夫が足りていなかった。
- 体験メインで工場内の見学が出来ていなかった。工場内の見学にも力をいれていきたい。
- 工場内の見学範囲をもう少し広げたいと思う。
- もっと事前準備に時間をかければよかった。テスト・リハーサルが行えていなかった。
- 出し物の決定が遅く、PR活動を打てなかった。
- 半年前から企画はしていたが、当日の準備不足感が大きかった。
- とにかくやることが多くて疲れた。時間がなかった。
- 業務説明が脳内で整っておらず、回を重ねるごとに調子がよくなっていった。1回目と4回目では理解しやすさが格段に違ったと思う。
- 社内での事前調整が足りず、当日ギクシャクしてしまった。
- 従業員に体調不良者が出た時の準備が出来ていなかった。
- 会社全体として参加できなかった。
- 自社スタッフにももう少し多く参加してもらい、自分の日頃の仕事について説明させたかった。
- 予約なしでも受け入れできる体制にしたい。
- もっと景品を用意しておけばよかった。サービスが不足していた。
- もう少し目立つ看板や、体験内容などが分かりやすい看板を用意しておくべきだった。
- 見学時間が短く、入れ替えの時間帯がかなり忙しくなってしまった。
- 来場者受入時間が短かった。
- 1社当たりの見学や体験時間を短くして、多くの企業を回れるようにした方がよいと感じた。見学と体験で約1時間を要して来場者を待たせることがあった。次回は見学と体験で30分程度にしてもよいかも。
- 来場者への物販のアピールを強化したい。
- 一般来場者の集客への取組が不足していた。
- 自社の繁忙期と重なった。他のお祭りやイベントと被っていた。
- 一般市民や子どもたちに対しての見学なのか、それとも身内や仕事に繋がるための見学なのかを自社で考え直したい。
- 出展するよりも、子どもと一緒に来場者として1日回りたかった
- 駐車待ちや待ち時間が長くて帰ってしまった方がいた。交通整理や待ち時間にも楽しめる工夫をしておけばよかった。
- 予約者と当日飛び込み参加の区別がつけられず、予約者を待たせてしまった。

イベント運営でよかったところは？（抜粋）

- 全体会議での説明やメールでのやり取りがよかった。非常にきめ細かいフォローをしてもらった。
- 実行委員の皆様の団結力と実行力がとてもすごいと感じた。
- 運営スタッフのチームワークが良く、流れがスムーズだったと感じました。
- 運営の皆さんが同じ帽子で分かりやすかった（吉岡）
- SNS で開催までのカウントダウンは良かった（吉岡）
- 予約の人数等が共有されているため、準備が昨年度より容易に行えた。
- 大きな事故なく終了できた。
- 少ない打ち合わせの中で、とても内容がまとまっていたのでわかりやすく進んだのでよかった。
- お祭りのような雰囲気を感じることができて、より従業員の家族を呼びやすくなったように感じた。
- 準備期間が短かったが、前回から改善されている点が多く良かった。
- 工場間の移動に市でバスやワゴンを用意してくれたのは良かった。
- 抽選会などがあったのは面白いと思った。
- 色々な手配を全てやっていただけたので、自社の準備に集中することができた。
- アンケート回答でのアイス無料配布は、暑い時期だったため非常にお客様にも好印象を与えていた。
- キッチンカーが時間いっぱいまで営業してくれたので、欲しいものが買えてよかった。

イベント運営で改善すべきところは？（抜粋）

- 各参加企業に対してもう少し細かい部分の打合せや意見を聞いてもらって運営してほしい。
- ボランティアへの事前説明(当日の役割分担など)が足りなかった。
- 市役所、エリア、企業間の連携が悪かった。
- 実行委員の頑張ってる姿が素敵で、参加企業が安心して任せることができたが、夜遅くまで会議をしていたので、通常業務に支障が出てないかが心配。
- メイン会場と工場開放を兼ねている場合、活況でよいが工場スタッフが兼務していて大変そうだった。
- メイン会場から遠いと人通りが少なかった。余裕がある時間帯は、総合受付付近にいる来場者を誘導できればよかった。
- 参加企業の予約で、一般来場者（主に子ども向け）に体験をしてもらえなかった。
- のぼりが配布されなかったため、参加していることが周りから分かりにくかった。
- 事前の情報とは異なり、イス、テーブル、テントが貸し出されずに困った（上与）
- のぼりで工場の場所は分かるが、工場内の受付場所がどこか分かりにくかった。
- 事前に注文した昼食の受取場所が種類によって違うのであれば事前に知らせてほしかった。
- リストバンドが廃止になったなど、当日のトラブルは共有してほしい（吉岡）
- 設定した入場料での想定来場者数を見誤った。
- 総合駐車場に関係者の車両が多く、一般来場者が遠方の別の駐車場へと停めに行き、見学が遅れた。（吉岡）
- 総合駐車場からイベント会場への誘導員が必要。大型車両を含む交通量が多く、子どもが歩

くのには危険だと感じた（吉岡）

- 駐車場は予約制にした方がよい。
- 駐車場以外の場所に駐車され、イベント終了後も残っていた車があった。（上与）
- イベントの周知が不足していたように感じた。より効果的な周知方法の検討が必要。
- HPの公開時期が遅かった。せめて一か月前には方針決定された広報を出すべきではないか。
- 開催する目的が全体で共有できていないように思えた。
- 準備を進める上でスケジュール感を各企業に共有してほしかった。
- 進捗確認のための定例会を設けた方が良かったかもしれない。
- 4エリア連続して行った方が、勢いが出て相乗効果が得られると感じた。1か月間隔が空くとエネルギーが霧散してしまう。
- 予約や受付制度について、来場者が理解していないケースが見受けられた。
- キャンセルされた方の情報がわからなかった。
- こういったイベントの場合、お金で解決できる課題には躊躇なく資金投入すべき。
- アンケート回答の景品としてエリア全体でアイスを用意したが、求められる数が想定よりも多く、途中で不足して買い足した。
- スタンプラリー用のハンコが当初の予定と異なり既製品のキャラクターものだったため、次年度以降はオリジナルのものか、各社で用意（ロゴスタンプ）があるとよい。（上与）
- マップのQRコードの読取り不良で、アンケートの回収数が少なかった（上与）
- ゴミ箱と救急箱設置について問い合わせがあった。総合受付と本部の両方に置いてもよいと思うが、分担と場所を明確にした方がよい。

これからのアイデア（抜粋）

- 秋頃の開催（真夏はお祭り感はあるが、ピリピリしやすかった）
- 土埃の立たない場所での開催。
- 学校を巻き込むには平日開催を検討。
- 参加企業の自社製品や紹介出来るスペースを工業団地組合会館などに設ける。
- 予約時に一般枠と企業枠（関係者枠）を分ける
- 一般来場者を最優先し、他企業スタッフは後回しにするようなルールを予め作っておく。
- 「予約無しはお断り」はNGにして、全ての来場者にオープンにしよう。
- 理想は完全予約制。事前準備を余裕をもって出来る、準備する材料に無駄がなくなる、休日出勤する人数を減らせる。
- 全ての会社で受付を可能にする（総合受付をなくす）
- スタンプラリーの景品（野菜）は重たくて持ち帰りが大変だった。協賛企業の商品（お菓子）などはどうか。お菓子であれば重たくないし、子どももうれしいのではないか。
- アンケート回答に対する景品や特典はあった方がよい。
- 記念品に名入れを行う会社があったが、来場者にはこの上ないプレミアの提供であると感じた。これを簡単に行うツールがあれば導入したい。
- スタンプラリーの規模拡大（上与の3か所は少ない）
- 協賛を募ってドリンクやアイスなどの無料配布（来場特典をパワーアップ）
- ロゴを大きくプリントした不織布バックを配布。持って歩くと宣伝になるし、見学の際には

手荷物をまとめて入れられる。

- スタッフ、出展企業でTシャツ等を作る。
- シャトルバスの増便。乗り遅れがないように最終便の時間設定の工夫。
- 駐車場の確保が難しいので、市役所を本部にしてシャトルバスの本数を増やす。
- ガイド役を用意して工場を巡るバスツアーの実施。
- 来場しやすく分かりやすい場所に受付を設ける。あるいは電子（スマホ等）でも受付。
- 総合受付から各工場への移動手段と、自前で移動する方用に駐車（輪）場も用意。
- 教育との連携を強化し、近隣の学校（幼稚園～高校）の職場体験として参加してもらう。
- 子供たちの自由研究に使えるイベントに。
- 就職面接会の同時開催（近隣の高等学校への来場呼び掛け）
- オープンファクトリーの要素を踏まえてお祭り感をアップして子どもも来やすいように（ブース出店企業を夏祭り風な仕立てにするなど）
- もっと気軽に参加しやすいような雰囲気宣伝。
- もう少し宣伝活動をしてほしい。
- 開催告知の有効度を高めるため、近隣小学校へのチラシ配布や近隣主要駅にポスター掲示。
- 入場料を無料に。
- イベントを知らない人でも当日通った時に誘致できるような工夫。
- YouTube やテレビ CM などで宣伝、折り込みチラシ。
- 企業同士のコラボ（各参加企業間で協力し、各工場を回ると最終的に一つの品物が完成等）
- エリアのみならず、4 日程にまたがった企画（スタンプラリーなど）の実施。
- 当日写真の共有。他社の様子を知ることができるほか、他社に撮ってもらえると自社とは違う見え方になって参考になる。一般の方にも投稿してもらえるとよい。
- 初期段階で各企業間を訪問する機会があれば、互いの事情を知って実直な意見交換を頂けたり、初参加企業にとってはアドバイスを得たりできるのではと思いました。
- コンセプトに合わせたオープンファクトリーイベントの内容をもっと議論すべきでは。
- エリア区分の見直し。
- エリアが広すぎて企業間への体験案内が難しい。休憩時間の設定も企業ごとに違うこともあるので他社を案内しにくい。
- 大ビンゴ大会や空気で膨らむ簡易なアスレチックの設置、あやせ音楽祭のステージ演奏、実行委員会でダンスユニットを結成 など。

次回開催方針

開催日程（案）

8/3（土） 綾瀬工業団地エリア

9/7（土） 上土棚・与蔵山下エリア

10/5（土） 早川・さがみ野・小園エリア

11/2（土） 吉岡エリア



間隔の検討

- 開催間隔が大きく空くと、全体として熱が冷めてしまう。エリア間の連携がしにくい。
- 2週連続開催は、参加企業・来場者ともに負担が大きい。

➔ 1か月間隔で連続開催

時期の検討

- 真夏開催に対する酷暑へのネガティブな意見は少なくなかったが、年末年始や真冬を避けつつ、準備・周知期間も考慮すると、一部エリアの夏開催は止むを得ない。
- 2年連続夏を絡めて開催することで、認知度向上に繋がる。
- 集客を考慮し、全市的なイベント（8月末大納涼祭、10月末ABF、11月末産業祭り）との重複は避ける。

➔ 8月～11月の第一週

曜日の検討

- 平日（月曜日～金曜日）開催はメインターゲットの親子連れの参加が困難であり、参加企業の負担も大きい。
- 平日のクラス単位での工場見学等で、教育現場・学校の巻き込みを図る。

➔ 土曜日又は祝日開催

周知

- 回を重ねるごとに本イベントの認知度は向上しているが、あやせ三大祭りのように定着するにはまだ時間を要するものと考えられるため、引き続き周知活動を強化する。
- ポスターの掲示期間を長くして周知を強化するため、年度内にポスター製作に着手し、早期に関係各所への掲示を行う。
- 各企業・各エリア単位のSNSでの情報発信を強化する。また、SNSに限らず、参加企業全社が何らかの周知活動を行うように努める。

予約制度

- 事前予約制又は当日受付制は、引き続き各企業単位で選べるようにする。
- 予約制度の意味合いを来場者に分かりやすくする。（事前予約者以外は受入不可 or 事

前予約者は優先扱いで当日飛び入り参加も可／工場訪問者数 or 体験参加者数等)

- 予約時の来場者情報の入力負担軽減を図る。(来場者に対してIDを発行し、氏名や連絡先の登録は一度だけとする等)
- 総合駐車場及び各工場駐車場の予約制についても検討する。

アクセス

- 各工場敷地内及び工業団地内に、来場者向けに分かりやすい案内表示を掲示する。また、現地に不慣れな方でも分かりやすいように、マップに各工場・会場の住所や駅・バス停からの所要時間等も記載する。
- 当日のスケジュールや総合受付等の来場ルールを、HP及びマップに分かりやすく掲載する。
- 市シャトルバス・ワゴン車だけでのエリア内の回遊性・移動手段の確保には限界があるため、総合駐車場の増設や送迎車両の手配、バスツアー等も検討する。

以 上